

まつやまNPOサポートセンター

平成 20 年度事業報告書

## 20 年度実施分析(総括)

まつやま NPO サポートセンター

業 務	事 業 名	20 年度計画	成 果	自己 評価	特 記
交 流	NPOまつり	NPO法設立 10 周年 記念イベント	400 名参加	C	18,19 年度開催時と参加者ほ ぼ横ばい。
	NPO交流会	年 3 回実施	1 回開催	B	参加見込み 10 名 申し込み 25 名・実施 17 名と好成果。
情 報	広報センター	ホームページ運営 メルマガ 450 件 広報誌 3000 部	メルマガ 280 件 広報誌 2000 部	B	メルマガ、広報誌は伸び悩 み。ただし、新事業「ニュース キャスト」にてマスコミ掲載増。
相 談	よろず相談	随時実施		B	
	実施&ニーズ調査	随時実施		C	NPOシート回収に時間がかか り、情報更新に反映遅れる。
人 材	実務講座	年 6 回実施 (会計・広報・企画等)	6 回開催	B	
協 働 促 進	協働提案制度の推進	1 件以上の成立	0 件	D	職員研修にて講義を実施。 仲介事業は実施せず。
	地域との協働促進	交流・ニーズ調査 堀江地区モデル化	桑原地区に変更	B	桑原地区にて関係づくり中。
	個別マッチング	1 件以上の成立	3 件	A	明神川、Eince、モードフェス 他、副次的な形で数件
N P O 連 絡 会	連絡会の強化	加入 100 団体	96 団体	B	
	コミュニティビジネス	企画 勉強会の発足	勉強会実施 6 団体参加	A	参加者が NPO を経営として考 えるきっかけの場を創造した。
	寄付開発支援	認定 NPO 申請支援 企業への情報提供		D	コミュニティビジネスと統合して 実施。
	防災ネットワーク作り	企画・研究 研究チームの発足	防災トーク参加 NPO まつり	C	「NPO ができること」につい て、より意識啓発が必要。
公 益	センター運営協議会	年 4 回実施	4 回開催	B	
	他センターとの連携	随時実施		B	

A 特筆すべき成果があった

B 適切に実施し、予定程度の成果があった

C 実施したが、予定の成果が得られなかった

D 実施しなかったか、まったく成果がなかった

年間相談件数

分類		合計	法人	任意	個人	企業	行政	その他
設立	団体設立全般	19	0	4	14	0	1	0
	法人格取得	40	0	25	12	1	1	1
運営	組織運営	20	9	10	1	0	0	0
	事務能力	24	17	6	0	0	1	0
	資金調達	32	15	17	0	0	0	0
	法人手続き	32	29	1	0	0	1	1
	その他	47	17	26	0	0	4	0
ネットワ ーク	紹介・照会	97	12	15	34	5	25	6
	仲介・調整	2	1	0	1	0	0	0
	その他	1	1	0	0	0	0	0
その他	情報交換	33	10	6	5	4	5	3
相談件数合計		347	111	110	67	10	38	11

年間来場者数

期間	合計	稼働日数	1日あたり
4-6月	976	67	14.9
7-9月	970	79	11.5
10-12月	1003	77	13.0
1-3月	761	73	10.4
合計	3710	296	12.5

会議室1 - 2使用者数

期間	合計
4-6月	104
7-9月	118
10-12月	91
1-3月	52
合計	365

## 【報告書】平成 20 年度 4 - 6 月

### 1. 交流業務

#### (1) NPOまつり

・4～6月は企画と参加者募集を行った。NPO法10周年をテーマに、1日目は「防災とNPO」、2日目は「くらしとNPO」をイメージした企画を立案した。実施に当たり、災害救援団体のNPO法人ピースウィンズ・ジャパンと松山市災害対策課、警防課に協力いただくことをお約束いただいた。

#### (2) 災害ネットワーク

・まつやま災害ボランティア救援ネットワークが実施する勉強会「防災トーク」への参加、松山市警防課が主催する「松山市自主防災組織ネットワーク」へのアプローチを行った。また、視覚障害者の団体に市の災害弱者支援についてヒアリングを行った。その結果、災害弱者対策はいまだ万全とはいえない状況であることがうかがえた。

#### (3) ロビー展示

- ・4月は、松山市NPO登録団体のパンフレット配布を行った。
- ・5～6月は、愛媛大学の学生が製作した「まつやまボランティアレポート」を掲示した。
- ・ロビーに設置してあるCSR報告書、団体ファイル等の整理を行った。

#### (4) その他

- ・4大学連携については、6月2日に開催された「ボランティア連絡会」に参加した。

### 情報提供業務

- ・第3期にあたり、ホームページを改装した。分散していた情報を整理し、不要な情報を削除した。
- ・ホームページのイベント情報は、5月よりNPO法人ぶうしすてむの協力を得て更新している。
- ・目下の課題は「NPOのひろば配信数・発行部数増」と「イベント情報の投稿数増」である。

月	ホームページ アクセス数	サポセンだより 発行部数	NPOのひろば メール配信	NPOのひろば 発行部数	イベント情報 投稿数	CATV 放映数
4	1061	1000	-	-	6	1
5	1255	-	280	500	7	1
6	1198	-	291	500	7	1

「NPOのひろば」メール配信は上記のものに加え、市民参画まちづくり課を通じ、市内小中学校と市役所各課に配信されている。

### 相談

- ・4～6月の相談件数は、下記の通りである。法人決算手続き期間のため、法人手続きの相談が多かった。

分類		合計	法人	任意	個人	企業	行政	その他
設立	団体設立全般	3			3			
	法人格取得	8		4	3			1
運営	組織運営	8		7	1			
	事務能力	9	6	3				
	資金調達	16	7	9				
	法人手続き	18	16	1				1
	その他	19	7	9			3	
ネット ワーク	紹介・照会	25	1	6	9	2	4	3
	仲介・調整	0						
	その他	1	1					

その他	情報交換	12	1	2	3	3	2	1
相談件数合計		119	39	41	19	5	9	6

人材育成

(1) 実務講座

月	日	曜	時間	講座名	参加者	講師
4	18	金	13:30~16:00	初歩からの助成金	15名	サポートセンタースタッフ(佐野)
4	25	金	19:00~20:30	同上	16名	サポートセンタースタッフ(佐野)

(2) 財源開発勉強会

- ・ソーシャルビジネス勉強会：参加9団体 / 寄付開発勉強会：参加8団体 募集は7月まで行う。
- ・6/25に初回を合同で開催した。参加者数は12団体。7月も合同開催の予定。
- ・講師は大須賀泰昌氏(エリモナコンサルティングオフィス代表)、眞鍋清氏(眞鍋公認会計士事務所所長)。大須賀氏には両勉強会の講師を、眞鍋氏にはソーシャルビジネス勉強会の講師を依頼した。

(3) 認定NPO法人

- ・1団体から、認定申請に向けた相談を受けている。

協働促進

(1) 協働提案制度

- ・事業として特に着手はしなかった。

(2) 地域との協働

- ・桑原地区まちづくり協議会準備会に1回参加。今後は桑原地区をモデルに進める方向。また、まちづくり協議会(準備会)がある地区のNPOリストを作成した。

(3) 個別マッチング

- ・Eince 子供応援隊の助成事業について、松山市教育委員会とマッチング。

NPO連絡会

(1) 連絡会強化

- ・新フォーマットのNPO活動紹介シートを作成し、6月の決算事務期に合わせて市内NPOに作成依頼を発送した。7月中に回収し、データベースとしてホームページ等で発信の予定。

(2) 環境NPO連絡会

- ・5月22日にエコツアーのホームページを公開し、サービスの運用を開始した。
- ・実施主体として、松山ネイチャーエコツアー協議会を立ち上げた。

(3) 子育てNPO連絡会

- ・団体の組織化に向けて、定例会を5月・6月に開催した。センターが事務局を担当し、会則作りなどの作業を進める一方、参加団体相互の関係作りを狙ってワークショップを行い、自由に意見交換できる雰囲気作りを行った。
- ・連絡会の代表には星の子クラブの菅さんに就任いただいた。任期は1年。

(4) 福祉NPO連絡会

- ・参加団体の意識調査を実施中。
- ・映画「4分の1の奇跡」上映会にあわせ、バザー出展の団体募集に協力した。

その他

(1) センター来所人数

月	合計	稼働日数	1日あたり
4	241	17	14.2
5	318	25	13.7
6	417	25	16.7
合計	976	67	14.9

(2) 会議室1 - 2利用回数

月	4月	5月	6月
回数(団体数)	33回 / 12団体	34回 / 15団体	37回 / 19団体

(3) センター運営協議会

- ・5月21日に第1回センター運営協議会を開催した。

(4) 他センターとの連携

- ・今治NPOサポートセンター、新居浜市まちづくり協働オフィス、四国中央市ボラ・市民活動センターにサポセンだよりを発送した。また、メール等で情報をやり取りした。
- ・イベント「マイクロソフトNPO DAY高松」に参加。香川ボラ・NPOセンター、高松市ボラ・市民活動センター、ふくおかNPOセンターと関係作りを行った。

(5) その他特記事項

- ・人員配置の効率化のために、業務補助を行う学生スタッフを養成した。学生ボランティア団体メンバーやボランティア、NPOに関する講義を受講したものを中心に募集し、現在6名程度が基本的な対応の研修を終えている。

## 【報告書】平成20年度 7 - 9月

### 1. 交流業務

#### (1) NPOまつり

・別紙参照。

#### (2) 災害ネットワーク

・防災トークに毎月参加。また、防災士の全体講習会などでまつりの宣伝を行う。  
市が制定した避難所運営マニュアルを頂くなど、消防局との接点作りを行った。

#### (3) ロビー展示

・愛媛大学が制作したボランティアレポートを掲示。引き続き、ロビーの整理整頓を行う。  
NPOまつり終了後、当日制作したメッセージボードを掲示中(12月までの予定)。

### 情報提供業務

・CATVは9月に番組終了。  
・新事業として「NPOニュースキャスト」をスタート。センターを訪れたマスコミ関係者に対し、独自のニュースソースを配信する試み。現時点で3つ配信し、2つが愛媛新聞にて取り上げられる(映画「おいしいコーヒーの真実」、講演会「イラク帰還兵が語る平和」)。

月	ホームページ アクセス数	サポセンだより 発行部数	NPOのひろば メール配信数	NPOのひろば 発行部数	イベント情報 投稿数	CATV 放映数
7	1105	-	269	1000	5	1
8	864	500	270	1000	0	2
9	848	-	277	-	4	2

「NPOのひろば」メール配信は上記のものに加え、市民参画まちづくり課を通じ、市内小中学校と市役所各課に配信されている。

### 相談

分類		合計	法人	任意	個人	企業	行政	その他
設立	団体設立全般	7		2	4		1	
	法人格取得	15		13	1		1	
運営	組織運営	3		3				
	事務能力	5	4				1	
	資金調達	6	4	2				
	法人手続き	6	5				1	
	その他	5	3	2				
ネット ワーク	紹介・照会	18	3	2	4	1	7	1
	仲介・調整	1			1			
	その他	0						
その他	情報交換	9	5	1	1			2
相談件数合計		75	24	25	11	1	11	3

### 人材育成

#### (1) 実務講座

月	日	曜	時間	講座名	参加者	講師
8	5	火	13:30~16:00	だれでもできるお金の管理	13名	愛媛中小企業指導センター岩丸氏
9	19	金	13:30~15:30	人材マネジメント	6名	サポートセンタースタッフ(佐野)

#### (2) 財源開発勉強会

・ソーシャルビジネス勉強会 7月:事業のたな卸 8月:決算書の読み方 9月:創業塾参加

創業塾には2名の参加。以前開催分に参加済や事業の日程で参加できない方が多かった。

- ・寄付開発勉強会 7月：事業のたな卸 8月：企業の視点から見た寄付 9月：成功事例の共有
- 8月の会では、前市民活動推進委員の丸橋さんに講師をご担当いただいた。

(3) 認定NPO法人

- ・事業として特に着手はしなかった。

協働促進

(1) 協働提案制度

- ・事業として特に着手はしなかった。

(2) 地域との協働

- ・桑原地区まちづくり協議会準備会に出席。協議会設立に向け、桑原との関係づくりを行う。

(3) 個別マッチング

- ・事業としては特に実施せず。「打ち合わせの場」として、センターをご利用頂くようになりました。

NPO連絡会

(1) 連絡会強化

- ・NPOシートの書き換え作業は現在停滞中。学生スタッフなどに依頼予定。

(2) 環境NPO連絡会

- ・伊予銀行「エバーグリーン」に応募、助成決定。
- ・松山市生涯学習振興財団より「生涯学習講座」講師派遣の依頼あり(2回分)
- 愛媛生態系保全管理の小沢さん、人と自然の絆を創る会の三好さんに講師依頼、内容を打ち合わせ

(3) 子育てNPO連絡会

- ・子育て情報誌「ドコママ愛媛」との連携を開始。12月号より、毎月コラムを掲載。
- ・子育てNPO連絡会ブースとして、NPOまつりに参加。

(4) 福祉NPO連絡会

- ・障害者就労支援に関するアンケート「現在やっている仕事、将来やっていきたい仕事と希望する給料額」について行なう。生活保護受給、障害年金受給、無給付により1-3万円、3-5万円、8-10万円。低単価内職・商品販売(例：100円クッキー)から脱却したいがそれを改善する余裕がない声多い。

その他

(1) センター来所人数

月	合計	稼働日数	1日あたり
7	326	27	12.1
8	317	27	11.7
9	267	25	10.7
合計	910	79	平均 11.5

(2) 会議室1-2利用回数

月	7月	8月	9月
回数(団体数)	46回/17団体	38回/16団体	34回/15団体

(3) センター運営協議会

- ・8月6日に第2回センター運営協議会を開催した。

(4) 他センターとの連携

- ・愛媛県主催の行革タウンミーティング(9月)に参加。

(5) その他特記事項

- ・地域若者サポートステーション(若者の就労支援事業)からの「職場体験生」を2名受け入れ。



## まつやまNPOまつり 報告書

開催日時	平成20年9月6日(土)10:00~16:30、7日(日)10:00~15:00
開催場所	コムズ
来場者	6日(土)講演会:95名、研究集会:13名 7日(日)一般来場:250名、出展NPO:150名
出展NPO	35団体(展示:32団体(うち物販:7団体)、セミナー:7団体、飲食:4団体) *昨年は25団体(展示:11団体、物販:6団体、セミナー:7団体、飲食:4団体) *今回は「防災」をテーマとしていたことから、まつやま災害救援ボランティアネットワークよりご紹介いただいたシンジョイ(防災・避難用品販売)、星の子クラブからご紹介いただいた株式会社開商店(強化ガラス等販売)の展示ブースを設けた。
経費	約30万円(ボランティアスタッフ交通費、國田さん謝金、消耗品費)

### 事前準備

#### 1. 計画

- ・イベント実施の告知自体は4月に行う。詳細な作業計画の策定が7月までかかり、準備が遅れた。
- ・同日程でのイベントが市内各地であったため、集客に苦戦する日程を組んだ。しかし、他の日程ではより集客、実施の困難が予想されたため、やむをえない日取りだった。  
(同日は地域の運動会、リサイクルマーケット、人権フェスティバル。翌週は敬老会、翌々週は学校の運動会等)

#### 2. 準備

- ・実行委員会を組織したものの活用せず。委員には個別で協力要請を行ったが、委員会として何か動かしただけということではなかった。ただ、実行委員に準備、実施、協力者探しに多大なるご協力をいただいた。  
(委員会メンバー: A I V O、星の子クラブ、まつやま災害救援VNW、どんまい)
- ・市民参画まちづくり課のご協力により、松山市消防局、まつやまインフォメーション、公園緑地課、広報広聴課などからの使用許可、実施協力をいただくことができた。

#### 3. 広報

- ・事前告知・・・広報まつやま、おせたい通信、リビングまつやま、愛媛新聞、CATV、報道資料、松山市広報番組「わくわくテレビ」、まつやまインフォメーションでの告知CM、チラシ6000枚
- ・当日取材・・・愛媛新聞、CATV、松山市広報番組わくわくテレビ

### まつり当日の動き(9/6、土)

#### 1. 講演会

- ・講師はNPO法人ピースウィンズ・ジャパン尾道事務局長の國田博史さん。  
内容は国外での活動の様子紹介と、東海地震に備えての対策。「地域との関わりなしには活動できない」との言葉が印象的だった。参加者より「危機意識が高まった」「スケールの大きすぎる話でイメージがわきにくい」など感想あり。

#### 2. ワークショップ

- ・まつやま災害救援VNWの河野啓一さんが進行。國田さんはオブザーバー参加。
- ・國田さんによる午前中の振り返りの後、2班に分かれて「災害時に困ること、必要な支援」「日頃からしておくこと、NPOにできること」の意見出しを行った。日頃からの備えや地域とのつながりの重要性を確認、また自主防災組織とNPOがお互いのことを知ることができた。
- ・午前に講演、午後からワークショップとお昼を挟んだため、参加者のほとんどが午前で帰ってしまった(ワークショップ参加申込あった方も含めて)

## まつり当日の動き（9 / 7、日）

### 1 . 5 階ブース出展

- ・ 5 階大会議室の展示は、15 団体程度がちょうどよい。今回は団体数が多く、ブース配置に苦慮。
- ・ 当日展示しなかった団体あり。モコクラブは代表不在のため連絡不行き届き、チャレンジネットワークは急な弔事あり代役が立てられなかったとのこと。
- ・ ステージにて、平成 20 年度松山市市民活動推進事業表彰、愛媛県社会福祉士会（あど坊）による高齢者虐待等のお芝居、NPO 法人えひめ消費者ネットによる消費生活かみしばいを披露。

### 2 . 飲食コーナー

- ・ 100 円券、308 枚使用。
- ・ 今回はゴミ分別の連絡を団体へ徹底していたので、昨年よりも後片付けが楽だった。

### 3 . 防災関連イベント

- ・ 乳幼児救命講習、参加者 AM 1 1 名、PM 1 1 名。講師は松山市警防課。
- ・ コムズ東側駐車場と新玉公園にて、起震車、煙体験テント、消防士体験コーナーを設置。松山市防災対策課にご協力いただいた。
- ・ 参加者が上記体験コーナーへ積極的にご参加いただけるよう、防災ツアーと大人向けの防災シールラリーを実施。

### 4 . 子ども遊び場、子どもシールラリー

- ・ 子どもゲームコーナーを星の子クラブが担当、また木の玉プールを大五木材から借用して使用。
- ・ 子どもシールラリーの景品はお菓子、飲食 100 円券、雑貨（出展 NPO から提供していただいたもの）、防災グッズを準備。

### 5 . 平成 19 年度松山市市民活動推進補助金・事業成果報告会を実施。

### 6 . その他

- ・ 星の子クラブに受付、景品交換、子ども遊び場、「こんなまちにしたいな」メッセージコーナーの仕切りをしていただいた。
- ・ 愛媛 FC が昨年に引き続き、一日一善活動の一環として NPO まつりに参加。マスコットキャラクターのオーレくんが「防災ツアー」に同行、起震車体験や防災クイズを楽しんだ。
- ・ 松山市より、第 4 別館駐車場（19 台分）を 2 日間にわたり借用。また新玉小学校の駐車場をまつやま災害救援 VNW 一色さんの取り計らいで借用（20 台分）。どちらも講師・スタッフ用として使用。
- ・ 展示用パネル 35 枚を松山市社会福祉協議会より借用。

## 総括と次年度以降の NPO まつりのあり方

- ・ 「NPO まつり」は「気軽に市民と NPO の出会いの場、NPO 同士の顔合わせの場」というコンセプトで「お祭りの」に 4 年間開催してきました。しかし建物の造りや立地条件を考えると、商店街や大型ショッピングセンターのほうがその目的を達成できるのではないかと考えます。
- ・ また、センター以外の行政機関や各種団体が同様なイベントを行っています。団体からは「同様なイベントが乱立状態」との声も聞きました。NPO センター単独でこのような「お祭りのな」イベントを行うよりは、「みんなの生活展」等と協働してイベントを行うほうが効果的と考えます。

## 【報告書】平成20年度 10 - 12月

### 1. 交流業務

#### (1) NPO大交流会

- ・12月6日開催。参加36団体、50名。市役所よりもご参加いただき、よい交流が実現できた。

#### (2) 災害ネットワーク

- ・防災トークに毎月参加。

#### (3) ロビー展示

- ・4 Ringsが「みんなの生活展」で展示したボードを掲示中。

### 情報提供業務

月	ホームページ アクセス数	サポセンだより 発行部数	NPOのひろば メール配信数	NPOのひろば 発行部数	イベント情報 投稿数
10	796	500	277	500	1
11	769	-	277	500	4
12	645	500	277	500	0

「NPOのひろば」メール配信は上記のものに加え、市民参画まちづくり課を通じ、市内小中学校と市役所各課に配信されている。

### 相談

分類		合計	法人	任意	個人	企業	行政	その他
設立	団体設立全般	4			4			
	法人格取得	2			2			
運営	組織運営	2	2					
	事務能力	6	4	2				
	資金調達	8	2	6				
	法人手続き	6	6					
	その他	6	1	5				
ネット ワーク	紹介・照会	36	8	4	12	2	9	1
	仲介・調整	1	1					
	その他							
その他	情報交換	8	2	2		1	3	
相談件数合計		79	26	19	18	3	12	1

### 人材育成

#### (1) 実務講座

月	日	曜	時間	講座名	参加者	講師
10	17	金	13:30~20:30	広報講座	14名	サポートセンタースタッフ(佐野)
11	29	土	13:30~16:00	会計相談会	1団体	愛媛中小企業指導センター岩丸氏
12	12	金	13:30~16:30	事業計画作成講座・前編	5名	サポートセンタースタッフ(佐野)
12	13	土	9:30~12:00	事業計画作成講座・前編	5名	サポートセンタースタッフ(佐野)

#### (2) 財源開発勉強会

- ・次年度は「商材の開発」にテーマを絞って開催するよう検討中。
- ・ソーシャルビジネス勉強会 10月：事業のたな卸 11月：決算書の読み方 12月：実務講座参加
- ・寄付開発勉強会 10月：事業のたな卸 11月：企業の視点から見た寄付 12月：実務講座参加

### 協働促進

#### (1) 地域との協働

・桑原地区まちづくり協議会準備会に出席。協議会設立に向け、桑原との関係づくりを行う。

(2) 個別マッチング

- ・明神川を美しくする会、夏の「水辺たんさく会」以降、堀江支所での廃油回収など、連携が実現。
- ・「打ち合わせの場」として、NPOにセンターをご利用頂くようになりました。

NPO連絡会

(1) 環境NPO連絡会

- ・伊予銀行エバークリーンの助成金を活用した人材養成講座を実施。11月は重信川の泉エコツアー（講師：水をきれいにする会）12月は松山城エコツアー（講師：NPO法人 自然環境教育えことのは）を開催。

(2) 子育てNPO連絡会

- ・毎月1回、定例会を開催。赤い羽根助成事業に「子育て支援講座+パンフレット作成事業」で提案し、採択を受ける。また、JMACSが行っている「子ども虐待防止人材養成講座」でのスタッフ協力を行う。

(3) 福祉NPO連絡会

- ・クッキー製造販売のNPO法人SORA、花と喫茶菓子製造販売の華夢（市内4店舗）品質向上を目的に引き合わせ。来年4月を目処に新商品開発予定。

その他

(1) センター来所人数

月	合計	稼動日数	1日あたり
10	366	27	13.6
11	371	26	14.2
12	266	24	11
合計	1003	77	平均 13

(2) 会議室1 - 2利用回数

月	10月	11月	12月
回数（団体数）	35回 / 18団体	34回 / 17団体	22回 / 12団体

(3) センター運営協議会

- ・11月6日に開催。「次年度センターは何をすべきか」について意見交換を行う。

(4) 他センター連携

- ・10/9 えひめ市民活動サポーターズ会議主催「NPO支援者座談会」に参加。

(5) その他特記事項

- ・10/18,19「みんなの生活展」に参加。4 Ringsとブース展示を行う。
- ・11/17,18「NPO活動推進自治体フォーラム・静岡大会」に参加。
- ・えひめ若者サポートステーションより3名の実習生を受け入れ。

## 【報告書】平成20年度 1 - 3月

### 1. 交流業務

#### (1) 災害ネットワーク

- ・防災トークに毎月参加。

#### (2) トークカフェ

- ・2月コムズフェスティバルにて「NPOのつくりかた」と題して開催。申込25名、参加17名で実施。子育て分野NPOの「コングラネット」「ひまわり」を招き、立ち上げ期のエピソードなどをうかがう。

### 情報提供業務

月	ホームページ アクセス数	サポセンだより 発行部数	NPOのひろば メール配信数	NPOのひろば 発行部数	イベント情報 投稿数
1	693	-	277	500	1
2	670	-	277	500	2
3	649	1000	277	500	2

「NPOのひろば」メール配信は上記のものに加え、市民参画まちづくり課を通じ、市内小中学校と市役所各課に配信されている。

### 相談

分類		合計	法人	任意	個人	企業	行政	その他
設立	団体設立全般	5		2	3			
	法人格取得	15		8	6	1		
運営	組織運営	7	7					
	事務能力	4	3	1				
	資金調達	2	2					
	法人手続き	2	2					
	その他	17	6	10			1	
ネット ワーク	紹介・照会	18		3	9		5	1
	仲介・調整							
	その他							
その他	情報交換	4	2	1	1			
相談件数合計		74	22	25	19	1	6	1

### 人材育成

#### (1) 実務講座

月	日	曜	時間	講座名	参加者	講師
1	30	金	13:30~16:00	事業計画書作成講座・後編	6名	サポートセンタースタッフ

#### (2) 財源開発勉強会

- ・参加者の無断欠席多く、運営に苦慮。「忙しい」等の理由が多いが、やる気がしぼんでいる様子。
- ・1月：実務講座参加 2月：セールススキル 3月：成果発表会

### 協働促進

#### (1) 地域との協働

- ・桑原地区まちづくり協議会準備会に出席。

#### (2) 個別マッチング

- ・マツヤマモードフェスにおいて、衣料リサイクル団体とモードフェス企画団体とをマッチング。

### NPO連絡会

#### (1) 環境NPO連絡会

- ・伊予銀行エバーグリーンの助成金を活用した人材養成講座を実施。1月はエコツアー概論の講義(講師：愛媛大学研究員)、2月はガイドの役割についての講義(講師：渡部佳子さん)、3月は興居島エコツアー(講師：NPO法人 愛媛生態系保全管理、ごご島里山づくりグループ)を開催、いずれも参加者15名前後。
- ・ガイドの補助ができる人(環境NPO人材)を育てるための人材養成講座を行ったが、「純粹に自然観察を楽しみたい人」の参加も少なくなかった。次年度は、エコツアーの普及を図るための「自然観察会」の実施と、環境NPO人材を育成するための「人材養成講座」の2つを行う。

(2) 子育てNPO連絡会

- ・1月以降、「松山市青少年育成市民会議」に加盟。その根拠法である「青少年育成条例」の制定の経緯に疑問視する団体から抵抗があったが、よりよい子育て支援環境をつくるために、参加の合意を得る。1月に同会議が開催したイベントにおいて、シンポジウム「みんなでやるや！子育て支援～若者が考える子育て」を実施。50名近くの参加者があった。

(3) 福祉NPO連絡会

- ・NPO 法人ユニバーサルクリエイイトが中心になり、就労支援の中間的な機関を創設する動きあり、その会合に参加。松山青年会議所卒業の企業人が構成メンバーにつき、企業への声かけに強いパイプあり。ほかに、ふうしすてむも。

その他

(1) センター来所人数

月	合計	稼働日数	1日あたり
1	268	24日	11.2人
2	244	24日	10.1人
3	249	25日	10.0人
合計	755	70	10.4人

(2) 会議室1 - 2利用回数

月	1月	2月	3月
回数(団体数)	17回 / 40団体	18回 / 30団体	17回 / 31団体

(3) その他特記事項

- ・新居浜まちづくり協働オフィス「オフィスパーティー2009」に出席。
- ・えひめ若者サポートステーションより1名の実習生を受け入れ。